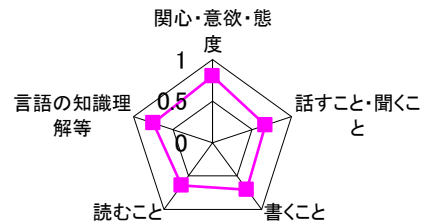


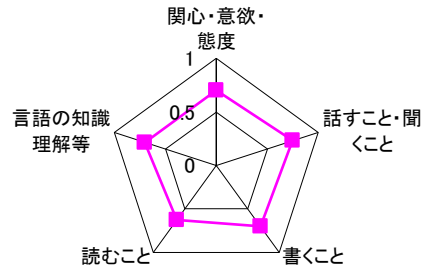
内容別・観点別の分析 (様式2)

1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	80%
話すこと・聞くこと	67%
書くこと	70%
読むこと	64%
言語の知識理解等	75%



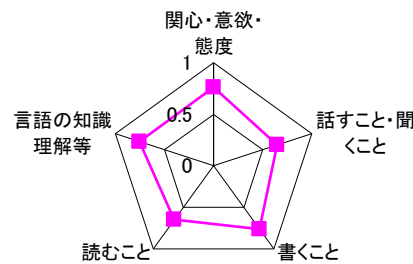
定期考査及び7月までの指導状況の分析

2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	70%
話すこと・聞くこと	75%
書くこと	70%
読むこと	63%
言語の知識理解等	70%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	76%
話すこと・聞くこと	65%
書くこと	76%
読むこと	65%
言語の知識理解等	76%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	作文において、句読点の記入ができていなかったり、話し言葉で書いてしまっている生徒が多く、表記に対しての指導が行き届いていない。	表記の基本をワークシートを用いて指導するとともに、実際の作文での誤用例を具体的に示し、その改善トレーニングを行う。	表記誤用の傾向を個人ごとに把握し、適宜個別指導を行う。
2年	小説文は比較的読み込めているが、説明文や論説文などを読解を苦手とする生徒が多い。	「教科書の教材を」教えるのではなく、小箇所の教材で通じて「読解方法を」指導するため、ワークシートを用いて文章の法則や段落構成に迫り、試論的な余回能力を育てるトレーニングを行う。	・読解の躓きの傾向を把握し、授業を通じた全体への指導と、個別指導を併用する。
3年	・「話す、聞く」指導において評価基準、評価の場面を把握させる指導が行き届いていない。 ・授業で扱う文章の数が教科書だけでは不十分である。	・めざす言語能力、評価基準、評価の場面を繰り返し明示し、その達成に向けての意欲を喚起する。 ・25分間シートを活用し、BL、ALとポイントを確認しながら、読解のトレーニングを行う。	・発表の準備段階において評価基準にてらした個別指導をこまめに行う。 ・シートに対応したチャレンジ問題で復習する。読解の躓きの傾向を把握し、授業を通じた全体への指導と、個別指導を併用する。